

生活と環境

Life and Environment

1 単位

大 学 名	神戸看護大学		担 当 教 員 氏 名	神谷 訓康 准教授
開 講 期 間	後期（11 月～翌年 1 月）		開講曜日・時間	金曜 4 限(14:50～16:20)
履 修 条 件			募 集 人 員	10 名以内
教 室	未定	連 絡 先	gakumu@kobe-ccn.ac.jp	
授 業 形 態	対面			
授 業 方 法	講義			
学 習 目 標	本講義は、人間の活動（日々の生活や産業活動など）が環境に及ぼす影響や環境が人間の健康に及ぼす影響について、看護学生として必要な知識を習得する。そして、過去の環境問題や現在および将来の環境問題について、自分の考えを持つことができることを目標とする。 人間が生活していくために環境との関わりなしで生きていけないこと、過去の公害等の環境汚染により人としての尊厳や人権を奪われた実態を学び、地域住民として自分の生活についても再考する機会を与える。			
授 業 概 要	人と環境の関わりについて、暮らしの中の環境問題を理解し解決方法を探ることを目的とする。大気環境、水環境、室内環境などの生活環境において、汚染要因の存在とその要因の人に対する健康危機管理について考える。講義は、学内での実験や見学を中心に演習形式で行う。			
授業時間学習以外の学習（準備学習含む）	事前学習：事前に配布する資料に目を通すこと 事後学習：講義で提示する課題に取り組むこと			
	1	人間と環境（神谷）		
	2	公害問題（神谷）		
	3	水質の簡易測定法の実践（神谷）		
	4	騒音の簡易測定法の実践（神谷）		
	5	心身ともに健康に働くための環境とは（科目特別講師・Healthier Life 代表 亀井）		
	6	衣・食・住生活と環境（神谷）		
	7	廃棄物処理、地球規模の環境問題（神谷）		
	評 価 方 法	各授業の課題の提出状況（100%）		
教 科 書	教科書は指定しない。テーマごとに資料を配布する。			
参 考 図 書	1.くらしに活かす環境学入門, 細谷夏美, 三共出版(2003) 2.だれでもできるパケットテストで環境しらべ, 岡内完治, 合同出版(2002)→PDF 版を共立理化学研究所ホームページからダウンロード可能 3.生活と環境、藤城敏幸, 東京教学社(1999)			
特 記 事 項	人は、動物や植物といった生物学的環境の他に、水・紫外線・化学物質といった物理化学的環境、産業・経済、政治といった社会的環境など、あらゆる環境と影響を及ぼしあっています。本講義では、水質・騒音の簡易な測定法に触れる機会を設け、環境についてより身近な課題として考えてもらいます。本講義を通じて、ヒトの健康状態に環境がどのような影響を与えるのか、健康に悪影響を及ぼすような環境を生み出さないようにするためにはどうしたらいいのか、考えるきっかけとしてください。 オフィスアワー：事前にメールで予約を取ってください。			